

1 恵まれた立地条件

国道337号が持つ巨大マーケット

国道337号は札幌市をはじめ、新千歳空港、物流拠点の石狩湾新港、観光地でもある小樽市まで、道央圏の交通の要所として充実したアクセスを誇っています。

札幌広域商圏 ▶ 約 **287万人**

交通量 ▶ 約 **2万台**

※半径20キロ商圏でも166万人が居住。また、当別町には北海道医療大学、近隣には4つの大学があり、豊富な人材を確保できます。

フェリー

日本海側拠点港
小樽港・石狩湾新港から
新潟・舞鶴
ロシア・中国・韓国等各国へ

国際拠点港湾
苫小牧港から
東北・北陸・関東・東海・
関西地方
北米・中国・韓国等各国へ

飛行機 (新千歳空港)

羽田・成田	95分
名古屋	105分
大阪	120分
福岡	145分

337号

自動車

JR

自動車

札幌市中心部	40分
石狩湾新港	30分
新千歳空港	60分
丘珠空港	20分
小樽港	60分
苫小牧港	90分

JR

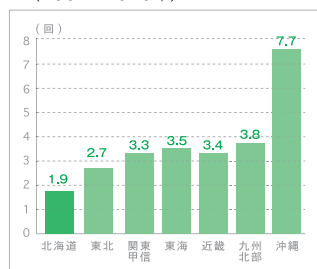
ロイズタウン駅	29分
札幌駅 ↔ 太美駅	31分
当別駅	37分



2 少ない災害リスク

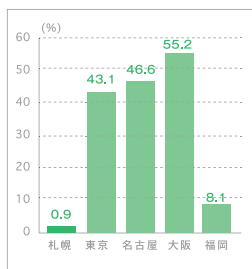
夏は冷涼な気候ですごしやすく、周辺には豊かな自然が広がります。自然災害の少なさは全国トップクラスで、震度3以上の地震回数は他都市と比較して少なく、大規模地震発生の確率も低いとされている札幌圏あります。また、梅雨がなく、台風の影響を受けることもほぼない地域です。

■台風接近回数の平均地域別比較 (1991~2020年)



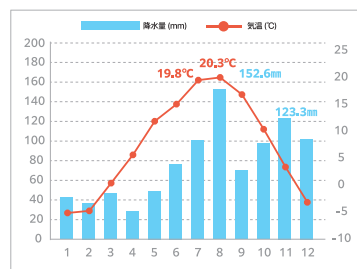
※出典: 全国地震動予測地図 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

■2016年から30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



※出典: 気象庁ホームページ

■月別平均気温・降水量 (2017~2020年)



3 豊富な農産物

当別町は豊かな水資源と恵まれた土地を生かした農業を基幹産業としています。米、麦、大豆を主力作物としながら、多種多品目の野菜づくりも行われています。また花き栽培も盛んで、年間販売額約10億円を誇り、当別ブランドとして道外へも出荷しています。

■当別町の農業 (2019年=令和元年)

作物名	面積 (ha)	収穫量 (t)
水稲	1,609	8,620
小麦	3,195	16,200
大豆	580	1,500
かぼちゃ	171	1,715
てんさい	61	4,490
ブロッコリー	56	463
にんじん	10	318
アスパラガス	27	17
キャベツ	27	1,433

■当別町の花き栽培 (2019年=令和元年)

作物名	生産数量 (万本)	販売額 (万円)
ユリ	213	50,565
デルフィニウム	33	4,179
カーネーション	76	4,614
カスミソウ	102	10,066
カラー	34	3,957
キイチゴ	113	7,673

▲名産品「亜麻」

©亜麻公社

お問い合わせ
連絡先

当別町経済部産業振興課

TEL (0133)23-3129 (直通)

〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町58番地9

FAX (0133)23-3206

E-mail shoko@town.tobetsu.hokkaido.jp web www.town.tobetsu.hokkaido.jp